

令和2年度第2回酒田市介護保険運営協議会 議事録

日 時：令和2年11月27日（金）午後1時30分～午後2時30分

場 所：酒田市役所中町庁舎6階 61号室

出席者：池田香委員、佐藤道子委員、阿部建治委員、奥山悟委員、阿部直善委員、後藤香委員
佐藤篤委員 以上7名

欠席者：鎌田剛委員、土門祐委員、佐藤千代樹委員

事務局：介護保険課長、介護保険課長補佐、予防支援主査兼係長、事業管理主査、事業管理係長

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議

(1) 令和2年度酒田市介護保険事業実施状況について（資料1）

委員	コロナ感染予防の影響で、イベント事業を6月まで自粛し、高齢者の通所型の利用が少し減ったと説明があった。高齢者はイベント等に参加して出歩いているうちは認知症や具合悪くなる人が少なかった。コロナ感染でイベントや集まる機会がなくなったり、ずっとうちにいる高齢者が多いということで前よりも認知度が進んだとか、介護度が上がったと影響があるものか。
事務局	全国的な報道等ではそのようなことも言われているし、その点については大変重要な視点である。私どもとしては、市広報に掲載したり、DVDを配布するなどできる限りのことを行っている。酒田市の場合は、4月5月の緊急事態宣言中もさほど市内での感染が蔓延しなかったことで、通いの場は一部中止となったが、今のところ介護度に影響があるという状況は見られない。デイサービスについて、一部の事業所では自ら行かないという利用者の方もいたと伺っている。市内全体の落ち込み、利用率が下がったというところは目に見えるほど出ていない。利用が必要な人は、利用されていたと認識している。冬場にかけて全国的にも感染の広がりを見せているし、市内においても少し感染者が発生しているということで、近日中に酒田市のコロナに対する方針が出る予定となっている。その状況を踏まえながら市としてもフレイル予防ということでは対応していかなければならない。
委員	P.7 下段の囲みに、「予防給付について～要因としては要支援認定者数の増加が挙げられる」、P.3のチェックリストのところでは令和2年4月時点ではチェックリスト該当者が特段増えているわけではない。チェックリスト対象となるものから介護認定を受けるほうへシフトしてきているのか。ここの考え方を説明してほしい。
事務局	チェックリスト、事業対象者として受けていた方が、もしかすると要支援の方に戻っているのではないかと内部では見ている。介護認定係長が不在のため、正確なところは言えないところと具体的に選択しているのかについては、もう少し詳細を見ていかないといけないと考えている。
委員	次回で結構なので、傾向がわかれば説明をお願いします。給付費に跳ね返るわけなのでわかる範囲でお願いします。
事務局	介護予防の訪問介護の部分で多く利用があったのが、総合事業に移ったことで訪問介護の利用が減っていると、その分析について話を受けた。前回の運協後に調査を行い、サービスを利用できないというケースは見られないことを報告させていただく。要介護認定に移ったり、要支援から要介護認定に移ったりというケースが結構あった。訪問介護を使っているのではなく、例えば、地域密着型サービスで小規模多機能居宅介護にサービスを切り替えているケースも見られた。一部、総合

事業に移行前に訪問介護を利用していたものの、総合事業移行後に利用していないケースもひとりふたり見受けられ、そういった人に関しては自発的に自立していきたいという考え方もあって、あえて使っていないことも一部ある。

4 報告

(1) 第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画について（資料2）

委員 資料2 6. その他の施設整備の方向性（案）の（1）通所介護サービス①認定者1人あたりの給付費について、酒田市が県内で給付費が一番高いとはどういうことか。

事務局 給付費とは、介護保険サービス提供にかかる費用で、その費用がかかっていることになる。

委員 9期計画も見据えてとのことだが、我々自治会連合会での話題についてお話したい。今日の会議には直接関わることはないと思われるが。我々は、5年後を見据えての話が出てくるが、今でも情報弱者（情報を取ることができない）、災害弱者、交通弱者が増えている状況だと思う。ある学区長からは小中学生でもタブレットを使っているのだから、高齢者にもタブレットを渡して市との通信ツールを設けることはできないかとの意見があった。また他の学区長からは70歳台以上は通信ツールに弱いので、70歳以下が75歳になるような時期に使いこなせるような考え方で進めてもらうのはどうか。今後のために、8期以降の計画に入れてもらうことができないのか。

事務局 9期以降で何か形になるようにしていきたいと思う。他の自治体に先駆けてデジタル変革戦略室を国と同時期に立ち上げて先進的に始めたところ。市長の話によれば、市民のために、市民の生活に関わるところでデジタル化を進めていくといくことである。

委員 認知症、徘徊について。消防勤務していた当時、ペン式の発信機を持たせてはどうかと考えたが、本人よりも家族がそれに抵抗があるなどで挫折した。見守りツールについて、プライバシーに気を付けながら、ぜひうまく軌道に乗せてほしい。

委員 8期計画としては、介護保険料が上がりそうで、施設整備について、入所系、デイサービスはキャパがまだあるのではないかということで新たに指定することは考えていない。この点については新しい方向性だと思う。なぜ高いのかと言えば、サービス付き高齢者住宅などの影響と書いてあるがどういう仕組みなのか教えてもらいたい。

ひとつだけ気がかりなのは、災害時の避難について。浸水区域にある事業所が避難計画を作ったわけだが仮に避難するとすれば、最寄りの小学校が指定避難場所になっている。介護を受けている人が指定避難所に行ってから福祉避難所へ迂回していくことになっている。福祉避難所に最初から行けるルートを作るのが重要と考える。もし検討するならばお願いしたい。

今回は、コロナ感染予防のため短時間での協議となったことから、みなさんから気づいたこと、聞きたいことを率直にメール、電話、手紙などで事務局へ出していただき、整理し、会議録に併せて載せることで全員で共有することでよろしいか。

事務局 委員の皆様には後日文書で依頼をさせていただくのでよろしく願います。

5 その他

6 閉会